

樹徳寺たより 2016年 10月号

○今月のことば

「いのちあることは、当たり前でなく素晴らしい」と気付いて感動するところに、真の生きがいと人生の意義があります。(中略)「当たり前」と思うとき、その人のいのちは削られていきます。それは寿命が短くなるというのではなく、グチばかりのつまらない人生になるという意味です。「当たり前」でないことに一つ一つ気付いていけば、より豊かな人生を授かります。当たり前が増えると、不平不満も増えます。当たり前が減ると、感動が増えて毎日の楽しさが増します。

毎日の出来事を「これは当たり前ではない」と意識してみましよう。今まで見えていた世界が、変わるかもしれません。

【文芸社刊 河合清閑著「スカッ！！と念仏」】

○今月の行事

錦秋 フルーツ法話のつどい

10月23日(日) 午後4時～

- ・共催「宇奈月の歴史と文化を楽しむ会」(会長 河田 稔)によるティータイムがあります。

○その他

今月も「仏説阿彌陀經」の世界へ楽しい心の旅をしましょう。